

[参考資料]

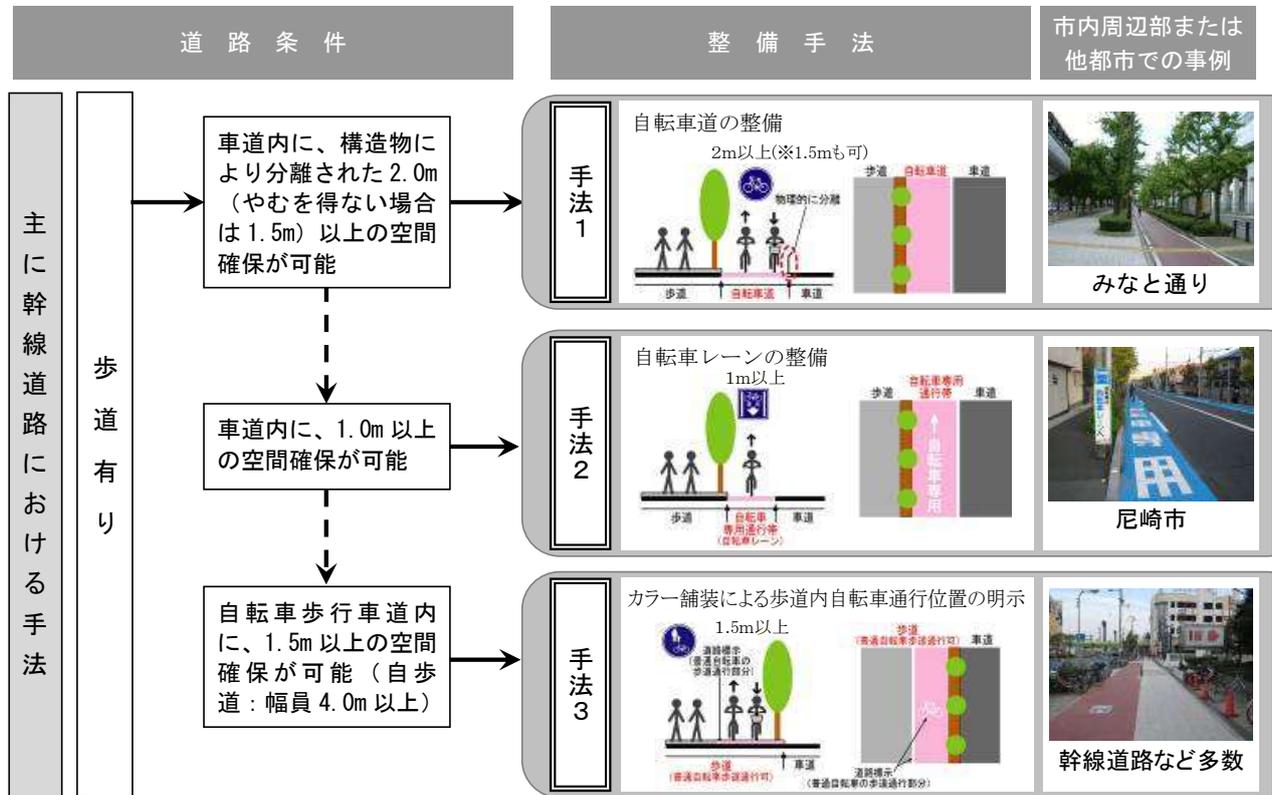
参考 1 自転車利用環境の整備に関する今後の取組みの考え方(平成24年3月)の概要

=自転車で「はしる」事に関して=

- ①中心部における自転車走行環境対策
- 幹線道路対策と細街路対策（エリア対策）が必要。
 - 自転車の利用状況などを踏まえ、自動車・歩行者通行空間との分離、周辺部の既存ネットワークとの連続性の確保等が必要。

<道路条件による自転車走行環境の整備手法と中心部における選定フロー例（抜粋）>

YES → NO -->



※整備手法については、今後策定される国のガイドラインの内容も踏まえた検討が必要である。



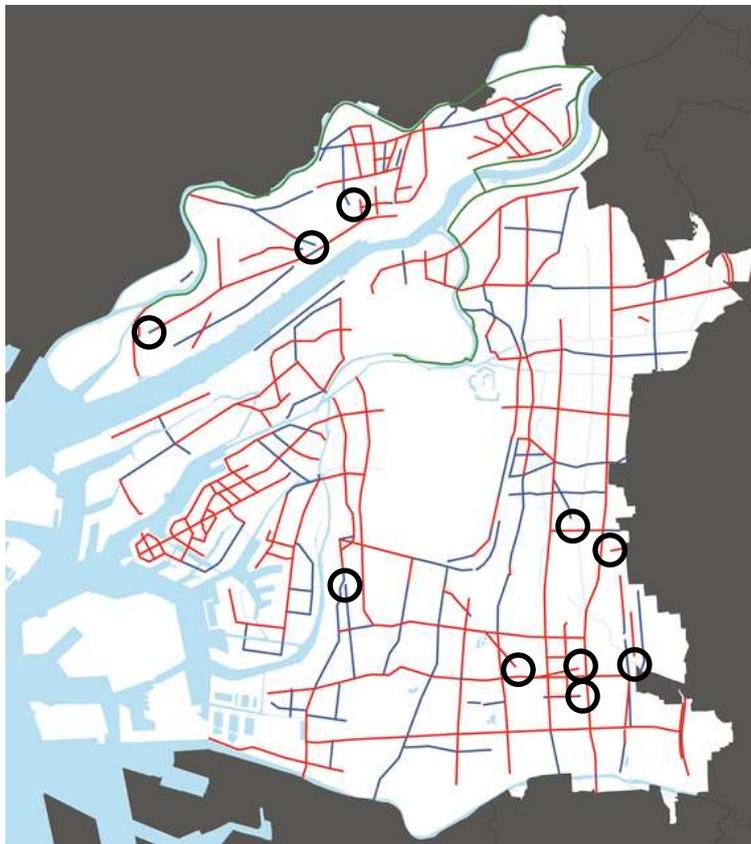
世田谷区

②周辺部における自転車走行環境対策

○未整備区間などの整備及びミッシングリンクの解消（新たな区間の追加）が必要。

③観光目的を想定した自転車走行環境対策

○今後の自転車利用ニーズも想定した対策の検討が必要。



凡 例	
	:自転車道・自転車歩行者道
	:大規模自転車道
	:未整備
	:ミッシングリンク

◆サインの整備イメージ

[看板]	[路面表示]
 <p>生活道路（交差点） サイン設置イメージ</p>	 <p>幹線道路（交差点） サイン設置イメージ</p>

＜レクリエーションを目的とした
市内の整備事例＞



大川の大規模自転車道



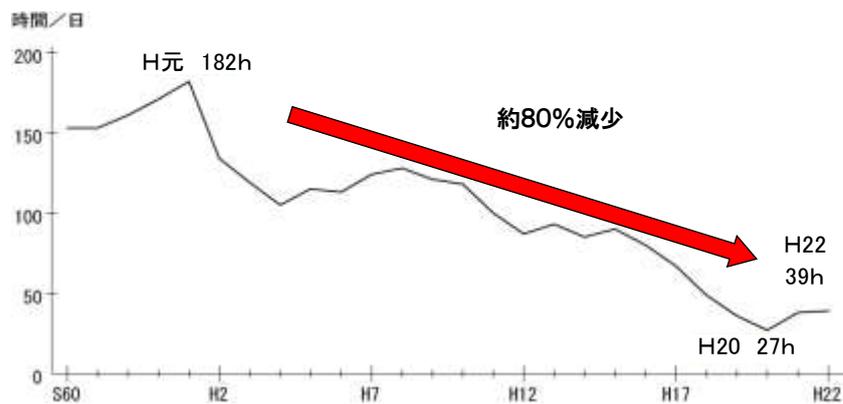
淀川の大規模自転車道

【事例：観光目的の自転車利用環境整備（奈良県）】

参考2 大阪市の自動車の利用状況

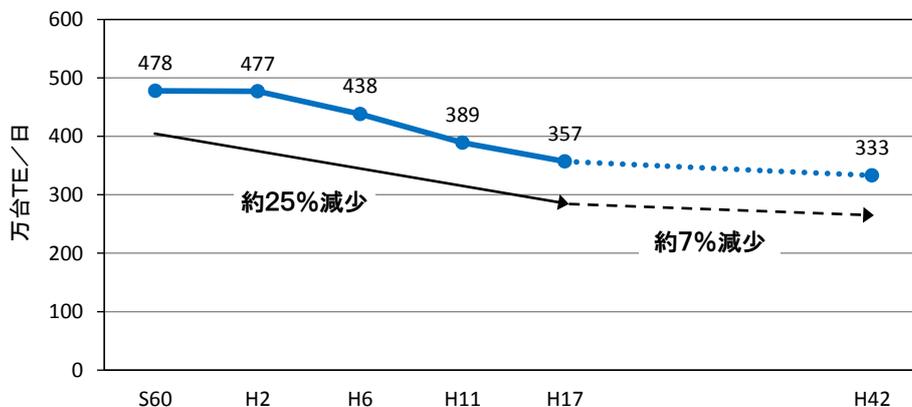
- 自動車交通量の減少や道路整備により、主要交差点の渋滞時間は大幅に減少するなど、自動車の通行環境は大きく改善している。
- 将来的にも大阪都市再生環状道路の整備進捗などにより、都心部に流入する自動車がさらに減少することが見込まれる。
- 都心南北6幹線で交通量が約16%減少する見通し。
- そのようなことから、市内の特に中心部については、幹線道路の道路空間を再配分できる状況が生じつつある。

【主要交差点の日平均渋滞時間の推移】



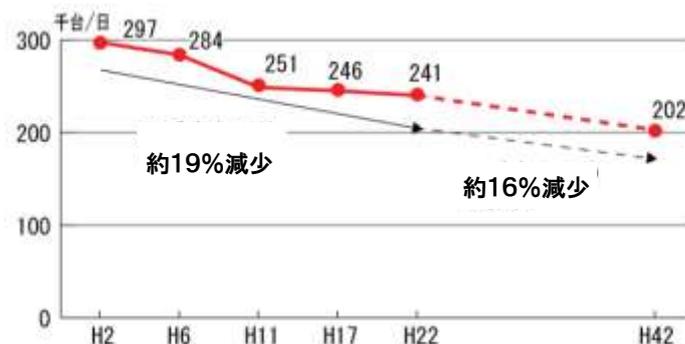
(資料:大阪の交通白書)

【自動車交通量の推移】



データ：S60～H17は道路交通センサス自動車OD調査結果
H42将来予測値は国土交通省による推計（平日の交通量）

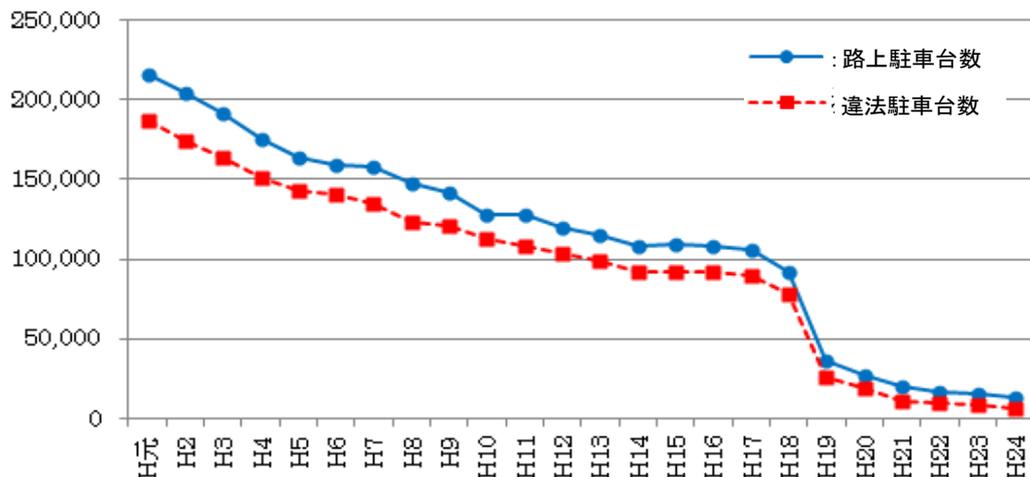
【都心南北6幹線(合計)の交通量の推移と将来見通し】



データ：実績値は道路交通センサス一般交通量調査結果。将来値は国土交通省による予測結果を元に推計したもの
6幹線：谷町筋、松屋町筋、堺筋、御堂筋、四つ橋筋、なにわ筋

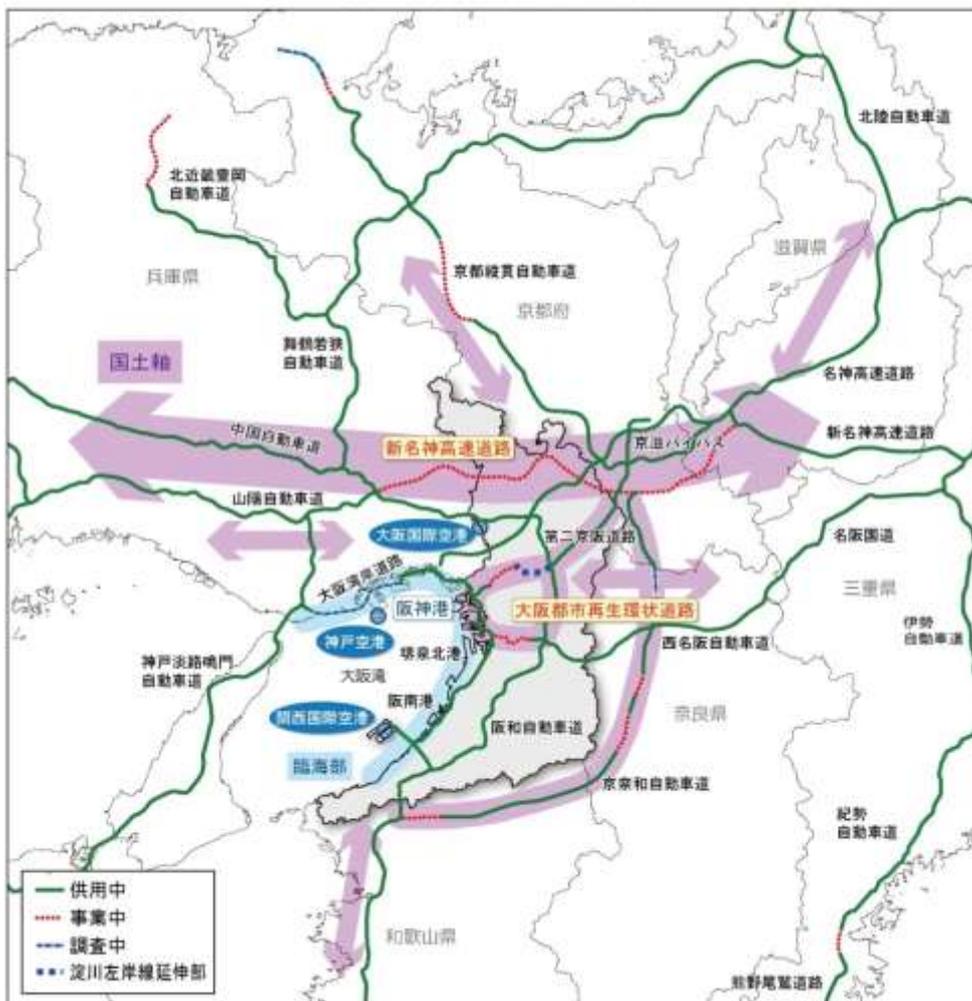
○自転車が車道を通行するにあたり、道路上の駐車が大きな課題であったが、市内の路上駐車台数の減少に伴い、道路、特に路肩を有効活用し、自転車の安全な通空間を確保できる状況が見えてきた。

【瞬間路上駐車台数の推移】



(資料:大阪の交通白書)

【広域的な道路ネットワーク】



出典：大阪府「大阪府国土利用計画(第四次)」(平成22年10月)を基に道路の開通状況を反映(平成26年7月現在)



出典：大阪都市再生環状道路 淀川左岸線延伸部パンフレット

参考3 大阪市内における自転車関連事故の特徴(H24～26:大阪府警データより)

○平成24～26年中の自転車関連事故は16,752件。

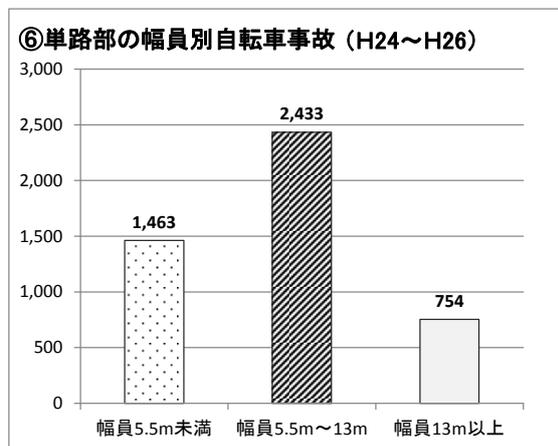
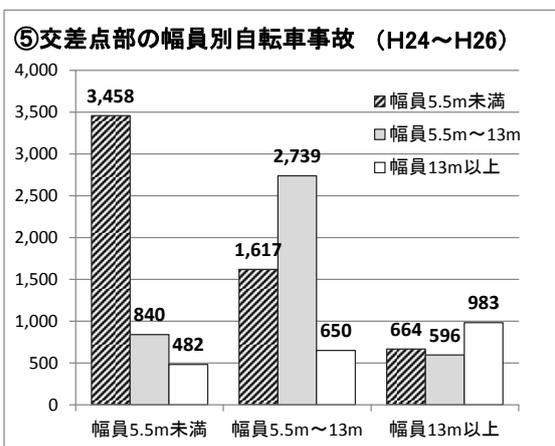
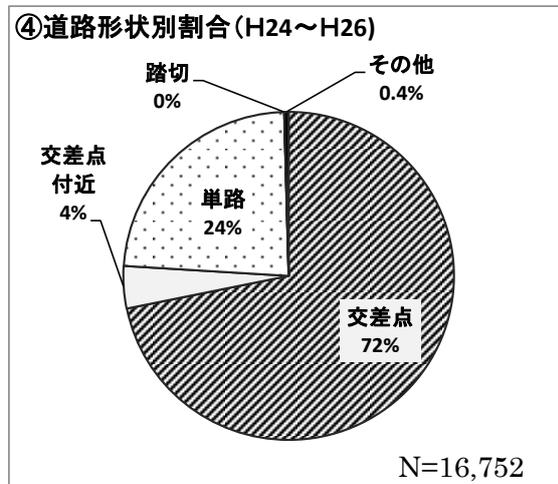
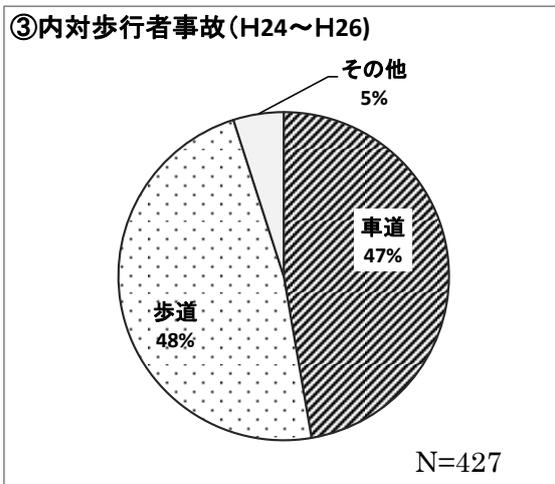
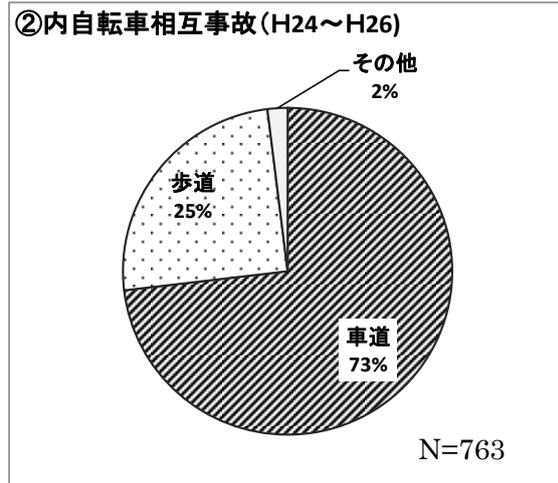
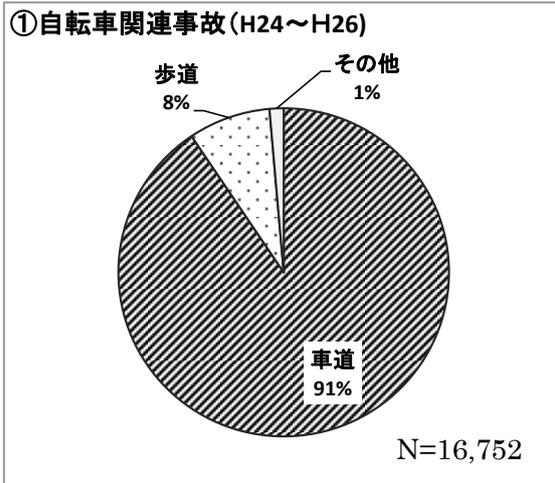
→ うち重傷事故は1,168件(7%)。自転車相互や対歩行者の事故では重傷率が13%。

○「車道」での事故が9割を占める。

→ 幅員13m未満の道路(歩道がない非幹線道路含む)での事故が多い。

○「交差点」での事故が7割以上を占める。

→ 幅員5.5m未満の非幹線道路どうしの交差点で事故が多い。



参考4 本町通における段階的対策と課題

整備年度	整備及び検討内容	○：効果 ●：課題
平成25年度 (本町3～本町1)	<p><整備内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自転車レーン（着色・矢羽根） ・交差点内矢羽根表示 ・法定外看板設置（立て看板） 	<p>○自転車の車道通行割合及びルール遵守率の増加</p> <p>●路上駐停車対策</p>
平成26年度 (本町1～内本町2)	<p><整備内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自転車レーン（着色・矢羽根） ・車道外側線+ピクトのみ ・法定外看板設置（柱巻付け） ・既存の街渠ますの蓋に滑り止めを焼き付け 	<p>○区間に応じた整備内容の採用（ピクトのみ等）</p> <p>●路上駐停車対策</p> <p>●連続的・統一的な整備（着色有無）</p>
平成27年度 (鞆本町1～本町3)	<p><整備内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自転車レーン（着色・矢羽根） ・法定外看板設置（柱巻付け） ・停車帯を活用した空間確保 ・既存の街渠ますの蓋に滑り止めを焼き付け <p><検討内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・路上駐停車対策としてのポストコーン設置 ・交差点内南北方向矢羽根設置（鞆本町1丁目交差点） 	<p>●路上駐停車対策（ポストコーンの設置に対する合意形成や設置後の反応）</p> <p>●鞆本町1丁目交差点付近におけるなにわ筋の対応（パーキングチケットの撤去）</p>

参考5 中心部の自転車ネットワークイメージ（中心部：0.5 km 間隔）

